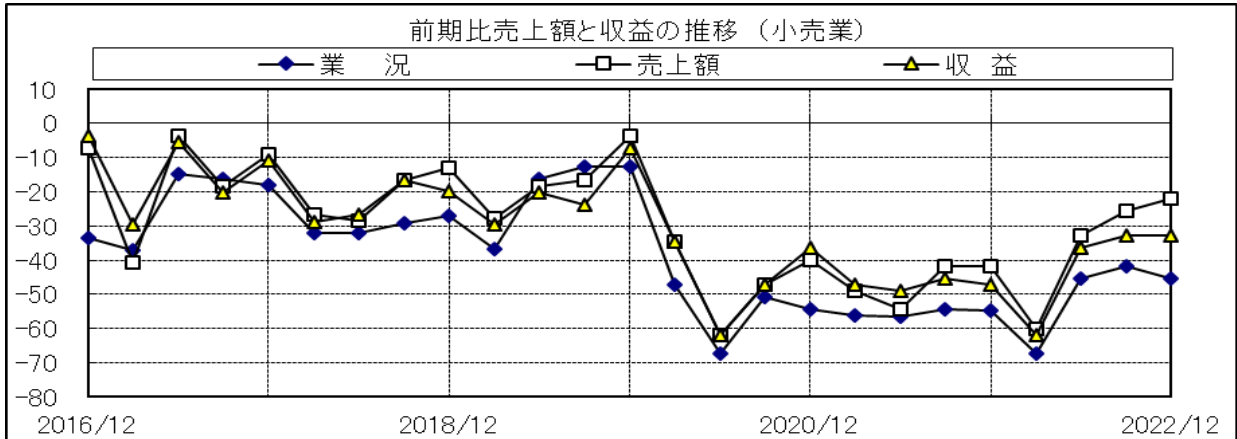


小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-45.4	-41.9	-45.5	-45.4
売上額	-32.7	-25.5	-21.9	-29.1
収益	-36.4	-32.8	-32.8	-30.9

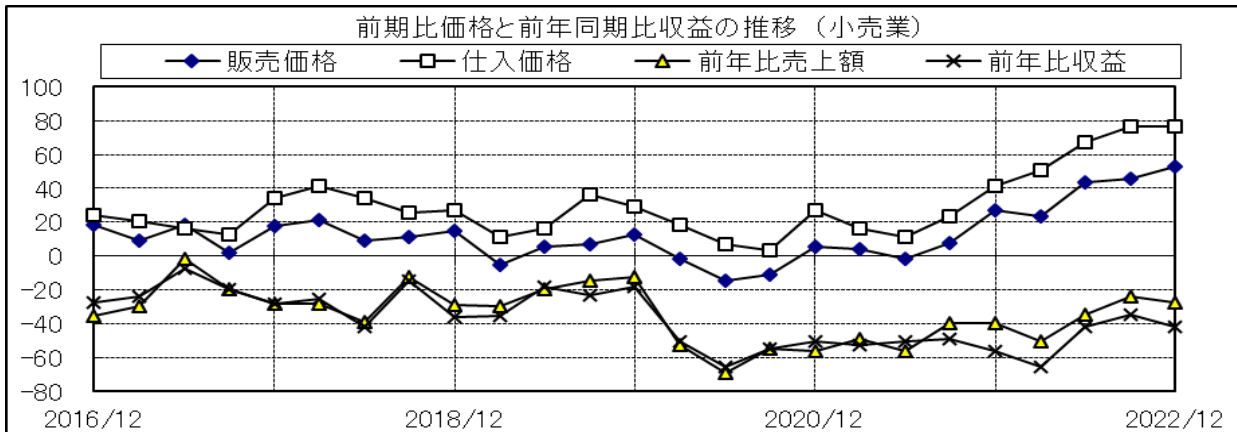
今期の業況判断 D. I. は△45.5 で、前期比 3.6 ポイント下降した。前年(△54.6)比 9.1 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に、様似、三石、広尾、えりもと続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△21.9 で、前期比 3.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△32.8 で、前期と同水準となった。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	43.7	45.5	52.6	45.4
仕入価格	67.3	76.3	76.4	58.2

販売価格判断 D. I. は 52.6 で、前期比 7.1 ポイント上昇。前年(27.3)比 25.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 76.4 で前期比 0.1 ポイント上昇。前年(41.7)比 34.7 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料・家電品は上昇し、食料品は下降した。仕入価格は、食料・家電品は上昇し、衣料品は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-9.1	-5.6	0.0	-9.1
人手状況	-16.4	-19.9	-25.4	-18.2

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 5.6 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△25.4 で、前期比 5.5 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

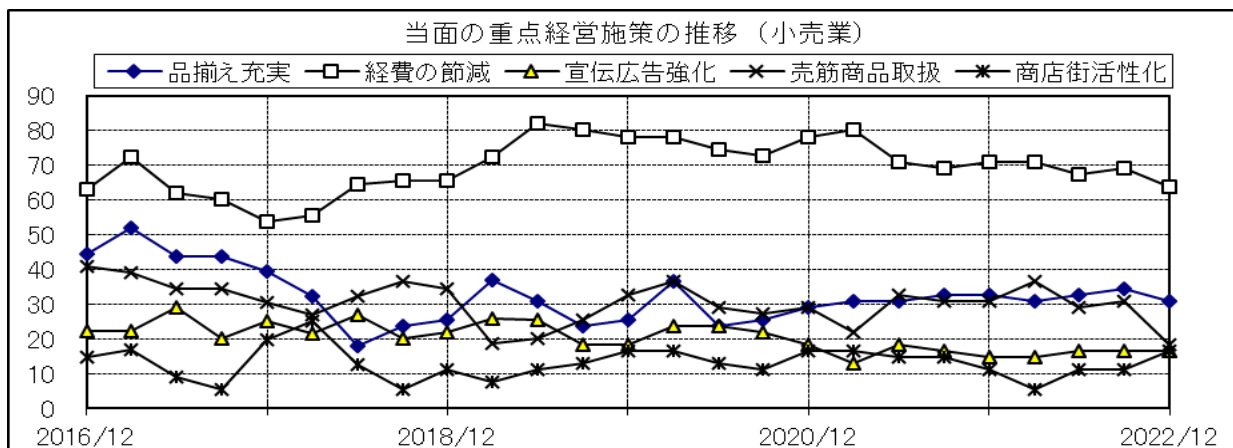
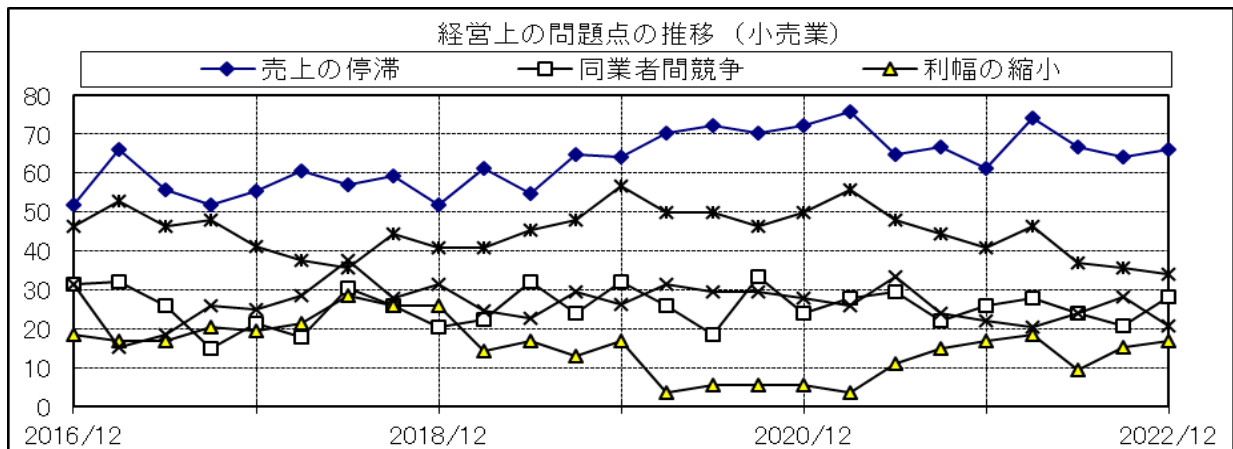
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I.は $\Delta 7.3$ で、前期($\Delta 12.7$)比5.4ポイント上昇した。設備実施企業割合は3.6で、前期(3.6)と同水準となった。設備投資は、前期2社に対し2社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が66.0%と最も多く、次に「値上要請」35.8%、「商圈人口減少」34.0%、「同業者競合」28.3%、「大型店競合」20.8%、「利幅縮小」17.0%、「取引先減少」・「商店街集客力低下」が9.4%、「人手不足」・「地場産業衰退」が7.5%、「販売商品不足」・「代金回収悪化」・「天候不順」が3.8%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が63.6%と最も多く、次に「品揃え改善」30.9%、「売れ筋商品取扱い」18.2%、「宣伝広告強化」・「商店街活性化」が16.4%、「仕入先開拓選別」14.5%、「人材確保」10.9%、「新事業開始」9.1%、「店舗設備改装」3.6%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I.は $\Delta 45.4$ と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I.は $\Delta 29.1$ と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I.は $\Delta 30.9$ と、今期比1.9ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I.は45.4と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。

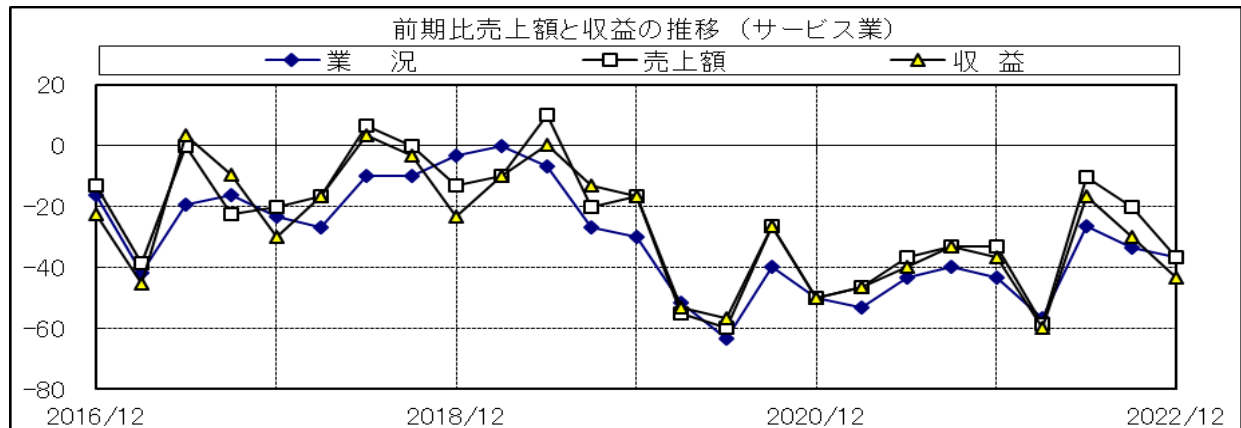
予想仕入価格判断D. I.は58.2と、今期比18.2ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-26.6	-33.4	-36.7	-40.0
売上額	-10.4	-20.1	-36.7	-40.0
収 益	-16.6	-30.0	-43.3	-46.7

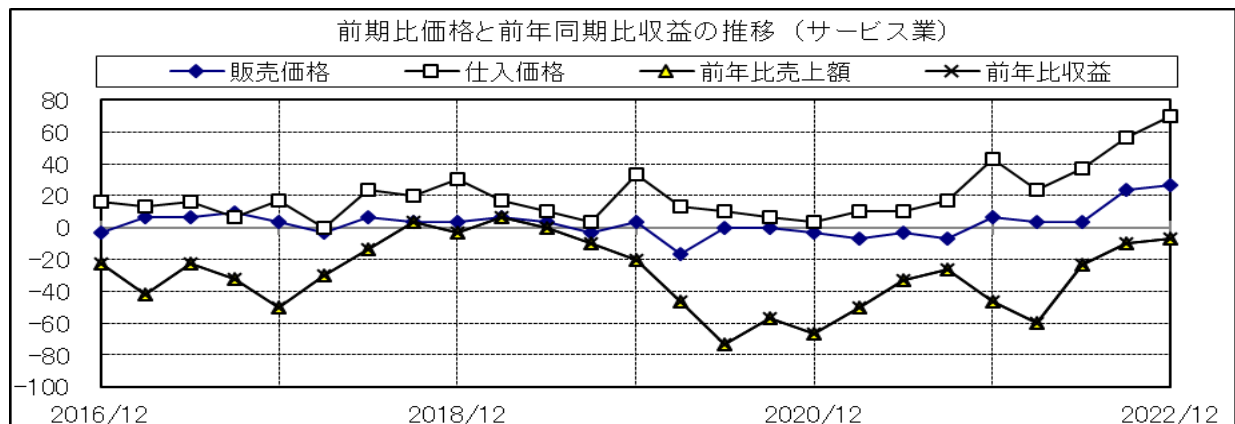
今期の業況判断D. I. は△36.7で、前期比3.3ポイント下降。前年(△43.4)比6.7ポイント上昇した。地区別のD. I. は高い順に、静内が最も高く、次にえりも、浦河・三石・広尾が同率で続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断D. I. は△36.7で、前期比16.6ポイント下降した。収益判断D. I. は△43.3で、前期比13.3ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
料金価格	3.3	23.3	26.7	20.0
材料価格	36.7	56.7	70.0	43.3

料金価格判断D. I. は26.7で、前期比3.4ポイント上昇した。前年(6.7)比20.0ポイント上昇した。材料価格判断D. I. は70.0で、前期比13.3ポイント上昇した。前年(43.3)比26.7ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業は横這い、洗濯理美容業は下降、自動車整備業は上昇。材料価格は、旅館業は横這い、洗濯理美容業・自動車整備業は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-13.3	-6.9	0.0	-3.3
人手状況	-20.0	-20.0	-16.7	-16.7

残業時間判断D. I. は0.0で、前期比6.9ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断D. I. は△16.7で、前期比3.3ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

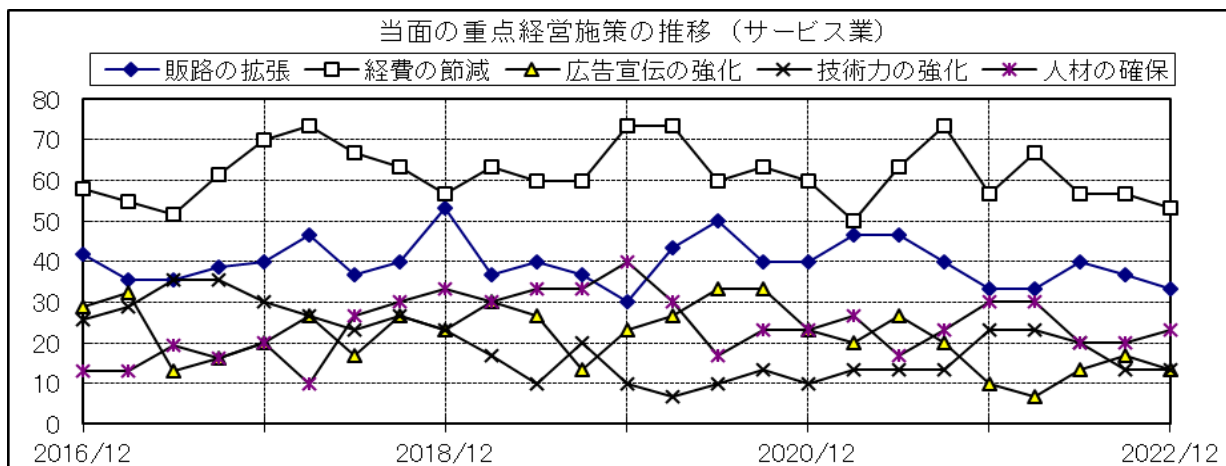
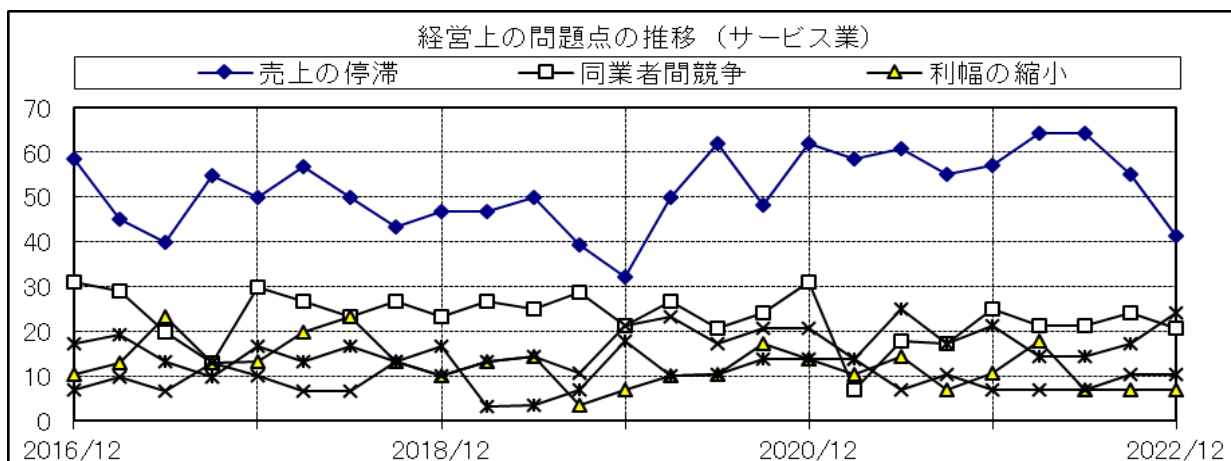
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 13.3$ で、前期($\Delta 10.0$)比3.3ポイント下降した。
設備投資実施企業割合は3.3で、前期(6.7)比3.4ポイント下降した。設備投資は、前期2社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が48.3%と最も多く、次に「売上停滞減少」41.4%、「商圏人口減少」31.0%、「人手不足」・「地場産業衰退」が24.1%、「同業者競合」20.7%、「人件費増加」10.3%、「利幅縮小」・「諸経費増加」が6.9%、「大手企業競合」・「合理化不足」・「料金値下要請」・「技術力不足」・「店舗設備老朽化」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が53.3%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「人材確保」23.3%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」が13.3%、「店舗設備改善」・「連携先確保」・「機械化促進」・「労働条件改善」が6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 40.0$ と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 40.0$ と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 46.7$ と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は20.0と、今期比6.7ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は43.3と、今期比26.7ポイントの下降を見通している。